

表紙の顔
SPECIAL!

岐阜美少女図鑑 Beautiful girl pictorial book

現役高校生 & モデル

professional NO.111

一日一日を大切に 高校生活 楽しんで下さい!



— 学生時代 —

— どのような高校生活を送っていましたか? —

とても充実した高校生活をおくっています。毎日友達とワイワイ楽しみなが、モデルの活動と勉強の両立をしています。夢である介護福祉士になるために、今年は国家試験を受験します。そのための専門的な勉強をしています。

— いまの職に就いたきっかけは? —

おじいちゃんから勧められたことがきっかけですが、自分自身もモデルという仕事に興味があったので岐阜美少女図鑑のオーディションを受けました。初めてモデルとしてのお仕事をさせていただいたのは、中学1年生のときでした。

— 仕事について —

— モデルをはじめ、自分の中で変化したことはありますか? —

人にみられるお仕事でもあるので、もともと好きではありましたが、メイクやファッションの勉強をしています。また、カメラマンさんや美容師さんなど、様々な方とお仕事をさせていただくので、コミュニケーション能力を身につけることが大切だと思っています。

— 仕事内容を教えてください。 —

岐阜美少女図鑑のモデルとして雑誌の撮影やラジオ、ファッションショーなどのイベントに出演させていただくこともあります。

— 仕事をするうえで、心がけていることを教えてください。 —

いつも笑顔でいることを心がけて

います。どんな活動も楽しく!

— やりがい —

— この仕事に就いて良かったと思うことは? —

イベントを楽しみに来てくれる人がいたり、ファッションショーを見に来てくれた方に、「私も頑張ろうと思った」などと声をかけていただく、すごくうれしいですね。もっと頑張ろうと思います。

— 夢や目標はありますか? —

おじいちゃんやおばあちゃんを笑顔にする介護福祉士になりたいと思っています。これから高齢者も増えていきます。そんな社会のなかで役にたてる人でありたいと思っています。

— なるためには —

まずは、岐阜美少女図鑑ホームページのモデル応募からエントリーしてください。書類選考後、編集部より、オーディションの案内がメールにて届きます。案内にもとづいてオーディションに参加します。オーディション合格者は、面談に来ていただき、その後、編集部で最終選考をおこないます。



あじおか ふうか 味岡 楓華 さん

平成10年生まれ

● 岐阜県立坂下高等学校在学中

13歳 岐阜美少女図鑑のモデルとして活動をはじめた。
16歳 はじめて表紙をかざり、どんどん仕事がふえました。
17歳 ファッションショーに出演、高校生活と両立しながら楽しんでいます。



岐阜美少女図鑑

岐阜美少女図鑑vol.16発行!

Beautiful girl pictorial book

<http://bishoujo-zukan.jp/gifu/>

岐阜美少女図鑑16号特別企画

ポニーキャニオンアーティスト企画・審査協力
女優・モデル発掘オーディション開催 2016年夏。

●応募資格:岐阜県在住の12歳~18歳のプロダクションに所属していない女性(2016年6月時点) ※ご応募の際には保護者の同意を得た上でエントリーしてください。 ●応募締切:2016年8月24日(水)17:00 ●オーディション:2016年8月開催予定 ●応募方法:岐阜美少女図鑑WEBサイトモデル応募ページよりエントリーしてください。



professional
NO.112



池宮 聖実 社会起業家
カンボジアのかご屋 moily (モイリー)

Photo by Yoshihiko Tanioka

BE AMBITIOUS

彼女たちと出会って、私の方がもっと ちゃんと生きなきゃって思ったんです。

世界は驚きと感動に満ちています。実際に自分の目で確かめないと、
本当のことって見えてこないんですよね。経済的に恵まれた私たちよりも
豊かなところをもっているのは、実は彼女たちなのかもって思います。

いけみや きよみ
池宮 聖実 さん

出身高校 岐阜県立長良高等学校
昭和62年生まれ 岐阜聖徳学園大学

●なるためには / 特に資格は必要ありませんが、一旦は企業に勤めて、ビジネスや仕事の基礎を学ぶことも大切な経験だと思います。自分の声に耳を傾け、情熱と好奇心が赴くままに行動してみてください。どんな仕事であれ、人の役に立つことや誰かの成長に関われることは本当に素敵な仕事ですよ。



Photo by Arisa Nagano

カンボジアのかご屋 moily

住所 岐阜市福富
勤務時間 起きている時間が勤務時間
休日 自分でスケジュールを管理します
URL <http://www.moily-bk.com/>
アンビシャス岐阜は池宮聖実さんを応援します!

―活動(仕事)の内容を教えてください。―

主に現在は、多目的に使えるカゴの企画、製造販売をおこなっています。カンボジアに製造拠点が有り、現地の女性たちと一緒にラベアという植物を使ったカゴをつくっています。私の仕事は、彼女たちの仕事を生み出すこと。そしてそれらを輸入して、正当な価格で日本国内の小売店や百貨店、様々な展示会やお店で流通させることです。

現在はカンボジア国内の2つの村で20数名の作り手さんがいます。もともとは現地で農作業用に使われており、彼らの生活に密着した日用品のカゴなのですが、それらを日本の市場に合うようにデザインをしておし、品質の管理をすることも大切な仕事です。カゴが売れることで彼女たちの内職を生み出し、最終的には彼女たち自身が自分たちの村をより良くしていくことを目標にしています。

―カンボジアに渡ったきっかけは?―

子供のころから学校の先生になりたいと思っていました。教育学部のある岐阜聖徳学園大学に入学し、教員になるための勉強をしていました。大学3年のとき、教員採用試験の面接のために「なにかインパクトのあることをやって、その話をネタにしよう」と、カンボジアへ渡りました。現地のレポートを、思っていました。その経験が私の人生を変えてしまうことになりました。

―カンボジアでの経験をお話いただけますか?―

正直、カンボジアに対して「貧しくてかわいそうな国」というイメージしかもってなかった私は、日本で得ていた情報と現実とは、まったく違うことに驚きました。「赤の他人の私になぜこんなに親切にしてくれるのか。なんて笑顔に溢れた幸せな国なんだろう」と、メディアや教科書が知らせる情報とのギャップに衝撃を受けました。先生として子供たちにちゃんと話ができるように、もっと世界のことを知らないといけないと思いました。それから発展途上国ばかりを16カ国回り、10ヶ月かけて世界を旅しました。

―その旅で学んだことをお話しください。―

各地のNGOに参加して、それぞれの国の学校で様々なボランティアをさせていただきました。ネパールに行ったとき、資金やインフラを与えるだけの支援によって、かえって彼らの自立を妨げている現実と直面しました。「本当に必要な支援ってなんだろう?」ひとつの疑問がうかびました。ただ与えるだけでなく、彼ら自身の能力を高め、健全に働ける環境と仕事をつくらなければ、本当の意味で自立していくことはできないのでは、と思います。

―それがいまの活動につながっていたんですね。―

そうですね。気づいたのなら私がやらなければ、と。カンボジアの友達たちは圧倒的に仕事に足りていません。だったらシステムづくりからはじめて、広げていくしかないと思います。彼らが日常的に使っている「カゴ」に着目しました。そこからは苦難の連続でしたが、まわりのサポートもあり、ようやく起動にのりはじめました。

―仕事のやりがいや、夢を教えてください。―
彼女らの考え方が良い方向に変ったり、日々の成長がみられることは本当にうれしいですね。カゴ編みは廃れると思っていたましたが、今では新たに覚えたいと言ってくれる人が増えてきました。彼女たちが自分の仕事に誇りをもって、経済的にも本当の意味での自立をしていってくれることが私の夢です。



株式会社プロスパー

サイン・ディスプレイ製造

professional NO.113

焦らない。
でも
あきらめない。

株式会社プロスパー

住所 羽島市足近町直道594
URL <http://www.prospers.co.jp/>
勤務時間 8:30~17:15
休日 土・日・祝（一部土曜出勤有り）

なるためには

- 必要資格 / 特に必要ありません
- 主な進路 / 決まった進路はありません。技術やノウハウは現場で覚えるものなので、興味があれば是非一度おこしください。インターンの受け入れもおこなっています。

アンビ
ジャスト

——学生時代

——どのような高校生活を送っていましたか？

子供のころから絵を描くことや工作など、ものづくりが好きだったこともあり工業高校に進むことに決めました。勉強はほどほどに遊ぶことには一生懸命でした（笑）。しかし高校生活をとらえて、生涯続くであろう交友関係を築くことができました。

——いまの職に就いたきっかけは？

高校2年の夏にインターンシップで弊社を訪れました。2日間、はじめて製造の現場を体験させてもらい、大変でしたがとても充実した時間でした。鉄鋼などの一般的な工業はあまり興味がなくて、ものづくりのなかでも、サインやディスプレイなど、デザインが必要な業界にひかれていきました。

——仕事について

——社会に出て学んだことは？

弊社は従業員の平均年齢が若く、自分と同じように高卒で入社してくる人も珍しくありません。しばらくは自分のことで一杯いっぱいになっていましたが、しばらくして先輩ができ、彼らを育てることが自分の成長につながっていきました。

——仕事内容を教えてください。

サインやディスプレイ関係のアクリル加工が主な仕事です。ショッピングモールで目にする、フロアマップや案内板、LEDの文字やサイン看板などの企画・製造から販売までおこないます。わたしはそのなかで



も企画、レイアウト、デザインを担当しています。営業部が受注した仕事のデータをおこしたり、お客様と直接デザインの打ち合わせすることもあります。一人で仕事をするわけではないので、チームワークも大切ですね。

——仕事をするうえで、心がけていることを教えてください。

「一つひとつの仕事を丁寧にやる」これを一番心がけています。時間がかかっても、そのことがお客様にも会社や自分にとっても一番いい結果を生むと信じています。

——やりがい

——この仕事に就いて良かったと思うことは？

自分が携わったものを、実際に目にしたときはうれしくなりますね。お客様からのよこのびの声が直接届くこともあり、自分が誰かの役にたっていると実感します。就業時間外にも、気がつく仕事をしていることがあります。つくづく仕事が好きなんだと思いますね。

——夢や目標はありますか？

結婚して家を建てるのが目標で

したが、ここ最近それは叶ってしまいました（笑）。今年から部署が変わり、初めて経験することがたくさんあります。もっとスキルを磨いていきたいですね。

——なるためには

専門的な技術、資格は必要ありません。それよりも素直で前向きな気持ちが必要だと思います。いま目標がなくても焦って見つける必要はありません。目の前のことに真剣に取り組むなかで、自ずとみえてくるものだと思います。

——お忙しいところ、ありがとうございます。

いまい たつや
今井 達也 さん

昭和61年生まれ

●出身高校 岐阜県立岐南工業高等学校

18歳 インターンを経て、高校を卒業した後入社。

24歳 親元からはなれて生活をはじめ。仕事が一段とおもしろくなった。

30歳 企画デザイン部に所属し、ものづくりの楽しさを再確認。現在に至る。



岐阜県立大垣南高等学校

高校教諭

professional NO.114

仕事, < 楽しい!
大人はすごく楽しい!!

岐阜県立大垣南高等学校

住所 大垣市浅中2丁目69

URL <http://school.gifu-net.ed.jp/ogkminami-hs/nanko/>

勤務時間 8:20~16:50

休日 土・日・祝(例外有)

アンビ
ジャス的

なるためには

- 必要資格 / 教員免許(小・中・高それぞれ)
- 主な進路 / 高校卒業→大学受験→卒業と同時に教員免許取得→教員採用試験に合格すると教員になることができます。

— 学生時代

— どのような高校生活を送っていましたか?

学校が大好きで、行事や部活動は特に力を入れて取り組んでいました。中学、高校とサッカー部に所属しており、本当に厳しい練習で大変でしたが、いま思えばそれが現在のベースになっています。

— 高校卒業後の進路は?

大学受験のとき、志望校に合格できず、浪人することを決めました。その時期は必死に勉強しながら、自分の進路を見つめました。理工学部で、なおかつ理科の教員免許が取得できる大学を探し、名城大学に無事合格しました。大学生活は充実していましたよ。学校外でも自分の行動の選択肢が増えて、様々な経験とともにたくさんの方の出会いに恵まれました。

— いまの職に就いたきっかけは?

大学3年の終わりがから就職活動をはじめました。いくつか説明会等に参加しましたが、自分がやりたいことが何かを見つけれないまま、模索する日々が続きました。あるとき、自分は給料や休みが多いことよりも、自分が自分らしく、誰かのために必死になることがやりたいのだと気がきました。希望どおり理科の教員免許を取得できたこともあり、教育実習を経て教員になることを決めました。

— 仕事について

— 社会に出て学んだことは?

どんな仕事に就いても同じだと思



いますが、「約束を守ること」や「元氣よくあいさつをする」など、本当に基本的なことが最も大切だと学びました。

— 仕事内容を教えてください。

朝は担任しているクラスのシヨートホームルームからはじまります。受けもちの授業が平均一日4時間程度あり、空き時間には様々なミーティングがあります。採点や授業の準備など、仕事は山のようにありますよ(笑)。担任をもつと生徒の進路も含めて、一人ひとりと向き合っていく確かなアドバイスが求められます。私の場合はサッカー部も受けもっています。

— やりがい

生徒の卒業式の日のためにがんばっているんだと思います。学校では、日々いろんなドラマがあるんです。そんな毎日を生徒と一緒に積み重ね、卒業式の日には彼らが本当にいい顔をしてくれているのを見ると、教員でよかったと心底思いますね。生徒達と一緒に自分が成長できることも大きなやりがいですね。

— 夢や目標はありますか?

ささじま ゆうき
笹島 悠希 さん

昭和59年生まれ 名城大学卒業

● 出身高校 岐阜県立大垣北高等学校

19歳

大学受験に失敗し、浪人生活。必死に勉強して志望校入学。

21歳

一般企業への就職活動をやめて、教員になることを志す。

31歳

高校教諭として生徒たちとともに情熱を燃やす日々。



子供たちが「早く仕事したい、早く大人になりたい」と、大人になることに期待する世の中をつくるのが私の夢です。壮大ですが、そのためには子供たちに「あの人楽しそうに仕事してるな、大人って羨ましいな」と思ってもらえるような生き方をしたいと思っています。

— なるためには

自分の利害ではなく、誰かのために動ける人。そして、そのことによる喜びを感じられる人に向いていると思います。

— お忙しいところ、ありがとうございます。



TJ 天気予報

トップスタイリスト

professional NO.115

仕事も 遊びも 全力で!!!

TJ 天気予報

住所 多治見市宝町10丁目78

URL <http://www.tj-tenkiyohou.co.jp/>

勤務時間 早番9:20~19:00 遅番10:20~20:00

休日 月曜+月休2、3回 リフレッシュ休暇年6回

アンビ
ジャスト

なるためには

●必要資格 / 美容師免許

●主な進路 / 美容関係の専門学校→美容院に就職
(通信で通いながら免許取得も可能) 高校で美容師免許がとれるところもある。

— 学生時代

「どのような高校生活を送っていましたか？」

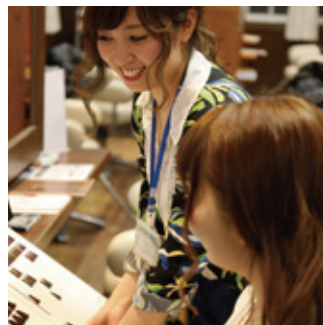
中学、高校とバスケットボールに明け暮れていました。とにかく落ち着きがないと言われるくらいに活発でした。美容師になることは決めていたのですが、高校はデザイン科に行きました。デッサンや色彩、陶芸の授業など、芸術の基礎を学びました。いまではコンテストのイメージ画や、店内のポップづくりなどにいかされています。

「専門学校で学んだことを教えてください。」

負けず嫌いな私は、中部美容専門学校に入学したときから「絶対に学校で一番になるんだ」と決めていました。授業以外にも自主トレニングをたくさんしましたね。法律や生け花など、一見美容とは関係なさそうなことも教わりました。いまと違って、お客様とお話しするときや、カットしたときのバランスなど、感性を育てるトレーニングになったと思います。美容師の基礎となる部分をいろいろ学び、卒業コンテストでは優勝することができました！とてもうれしかったですね。

— 現在の職業について

中学1年のとき、友達に髪を切ってくれないかとお願ひされたことがありました。はじめての経験だったのですが、それがとても楽しかったです。一気に火がついた私は、そのころから美容師に憧れるようになりま



した。そして美容専門学校を卒業し就職。26歳のときにはトップスタイリストになることができました。責任やプレッシャーは当然ありますが、自信をもって仕事をしています。

— 仕事について

責任をもってお客様のヘアスタイルをつくるのが、私たちの仕事です。常にファッションや美容などの情報にアンテナをはって、そのときどきの流行を理解することが重要です。トップスタイリストとして、スタッフの育成に努めるのも、私の大切な仕事のひとつです。

— 初めに教わったことは？

TJ 天気予報では初めに、「ヘアリスト」という仕事を任せられます。ヘアリストとは、シャンプーやマッサージ、カラーリングなどを含め、カット以外のお客様のケアをほぼすべておこなう仕事です。最初からプロ意識をしっかりとって働くことを学びましたね。自分の仕事に責任をもってお客様と接することで、信頼関係を築くことができます。

— やりがい

「この仕事のやりがい、やって良かった

と思うことを教えてください。」

シンプルに「お客様に「ありがとう」と喜んで貰えたときですね。『ぜったいにやめないで！』と、私のことを必要としてくれるお客様もいます。とてもうれしいことです。成人式など、お客様の成長の特別な瞬間に関われることも、大きなやりがいのひとつです。

— なるためには

美容専門学校に進み、美容師免許を取得する必要があります。あとは美容が好きという気持ちが大切です。『お忙しいところ、ありがとうございます。』

まえかわ あさみ
前川 亜沙美 さん

昭和63年生まれ 中部美容専門学校卒業

● 出身高校 岐阜県立多治見工業高等学校

13歳 友達の髪をカットしたことをきっかけに、「美容師になる」と決める。

21歳 TJ 天気予報に入社。

28歳 トップスタイリストとして活躍中。





麺屋無双

飲食店経営

professional NO.116

変化を恐むが 頑張ろう!!

麺屋無双

住所 岐阜市折立351-1

URL <http://musou.webcrow.jp/>

営業時間 11:00~14:30 17:30~23:30

定休日 年中無休(シフト制)

アンビ
ジャス的

なるためには

●必要資格 / 特にありません。

●主な進路 / これと言ってありませんが、飲食店で働くことをおすすめします。

—学生時代

高校生のときは、正直まだこれと
いって打込めるものを見つけれ
ていませんでした。家業はもとと
ラーメン屋をしていたのですが、い
ずれ継ぎたいという気持ちもありま
せんでした。勉強はほとんどに、サッ
カーや野球をして仲間と遊んでいま
したね。そんななか漠然と、「地元を
出てみたい」と思い、県外の大学に
進学しました。

—現在の職業についた経緯は?

大学1年生のとき、当時とても盛り
上がっていた有名ラーメン店が名
古屋にできました。そこへ食べに
行った父が、アルバイト募集の貼
り紙を見て、私に働いてみるよう進
めてきたのです。いま思えばそれが
私の大きな転機でした。働きはじ
めた私は、同じくアルバイトとして
働く人たちの意識の高さに衝撃を
うけました。ほとんどが独立希望者
で、志をもった人ばかりだったのだ
です。仕事への取り組み方や考え方、
社会ってこういうものなんだとい
うことを学びました。仲間とラーメ
ンについて朝まで語ったこともあ
りましたね。私にとってそこで
過ごした時期がとても大切だった
と思います。その後、興味があつた
洋食屋で3年ほど修業しました。そ
こから東京へ行きイタリア料理を
学び、そこでは店長を任されるまで
になりました。自分でお店をやるこ
とを意識しはじめたのはそのころ
からです。独立するのなら洋食がイ
タリアンも考えましたが、家業のこ



とやりスクを考え、実家へ帰ること
を決めました。新店舗増設と同時に
お店を任されるようになり、これを
生業にするんだと腹をくくりいま
に至ります。

—仕事について

まず、朝6時半からその日の仕込み
に入ります。一日帰宅し、開店時間
にもう一度出勤してランチ営業を
します。それが終わると夜間営業の
仕込みに入り、営業時間に合わせて
オープンします。朝から夜遅くまで
ラーメンと向合う日々です。空いた
時間で新メニューの開発をしたり、
経営者としてスタッフ育成、経理や
マーケティングなど、お店に関わる
すべての業務をおこなっています。

—社会に出て、学んだことは?

一言で言う、「自己犠牲の心」です
ね。20歳のとき、有名ラーメン店で
一緒に働いた仲間から学びました。
とにかくお客さんにおいしいラー
メンを食べてもらうために、常に
ラーメンのことを考えています。そ
してもうひとつは、「スープの奥深
さ」です。毎日同じ作り方をしてい
るにもかかわらず、気温や仕入れた

材料で味が変わります。それでも変
わらずおいしいと言われるものを
提供するのがプロの仕事。本当にお
いしいラーメンを追求し続けよう
と思います。

—やりがい

「お客様に「うまい!」と言ってもらえ
たときや、スープも残さず食べ切っ
てもらえたときはとてもうれしいで
すね。

—なるためには

特に資格は必要ありません。飲食店
で働くことをおすすめします。

「お忙しいところ、ありがとうございます。」

松波 浩太郎 さん

まつなみ こうたろう
昭和57年生まれ

●出身高校 富田高等学校

19歳 某有名ラーメン店でアルバイトとし
て働きはじめる。

24歳 東京のイタリアンレストランで働く。

33歳 店舗増設を目標に、日々の仕事に精を
出す。



藤井ハウス産業株式会社

集成材製造・販売

professional NO.117

明るく
楽しく
元気よく!!

藤井ハウス産業株式会社

住所 養老郡養老町押越1974

URL <http://www.fujiihouse.co.jp/>

勤務時間 7:45~17:05

休日 第2、第4土・日・祝

アンビ
ジャス的

なるためには

●必要資格 / 特にありません

●主な進路 / 特に決まった進路はありません。高校を卒業してすぐに就職し、現場で仕事を覚えるという方法もあります。大学で専門的に勉強してから入社する方法もあります。



学生時代

部活動に一生懸命な3年間でした。音楽部に所属しており、合唱をやっていました。個人ではなく、チームで取り組みますので、チームワークの楽しさと同時に大変さも学びました。そういった意味では、いまの営業の仕事にもいかされているのだろっと思えます。

大学時代に学んだことについて教えてください。

もともと商売に興味があったこともあり、愛知学院大学の商学部・商学科に進学しました。パソコンを使った表計算や情報処理などの科目が苦手だったのですが、克服しようと思いつつも教授を訪ねていました。すると力がついたので、3年になると、教授から「授業の助手をやらなにか」とオファーをいただきました。苦手だと思っていたのでうれしかったですね。褒められて伸びるタイプなのか、いつしか情報処理が得意科目になっていました。

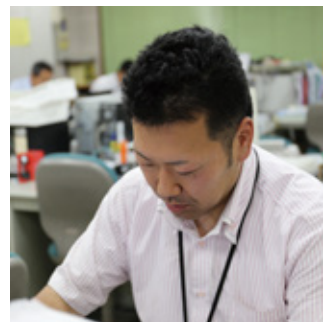
仕事について

「現職に就いたきっかけは？」

生まれ育った地元で営業の仕事がしたいと思い、探しておりました。社風も気に入り、さらに弊社の社長が、母校である愛知学院大学の先輩でした。はじめて会ったときから社長のキャラクターに惹かれて就職を決めました。

「社会に出て学んだことは？」

基本的なことですが、「ほうれんそう」が重要です。社会人になったばかりのころは、これができなくてよ



く注意されました。自分だけじゃなくて周りの人に迷惑をかけてしまいますからね。

「仕事内容を教えてください。」

弊社は創業70年以上になる地元企業で、集成材などの建材の加工販売をメインに、住宅のリフォームや新築設計から施行までおこなうことも少なくありません。そのなかで私は営業部に所属しております。「家の階段をつくりたい」「壁や床の材料を提案してほしい」などと、様々な相談が寄せられます。そういった案件にそれぞれできるだけでいいに対応していきます。

「仕事をやるうえで、心がけていることを教えてください。」

できるだけ早く答えを出すようにしています。先延ばしにせず即行動。これがお客様との信頼につながりますからね。

「やりがい」

「この仕事に就いて良かったと思うことは？」

「無事に設置できたよ。ありがとね」この一言につきますね。自分が携わった案件は、子供みたいに感じる

ものです。施主様の生活を少なくとも数十年は支えることになりましたからね。

「夢や目標はありますか？」

いつまでも若く！内面的にも、外見的にもカッコいい年の取り方をしたいですね。

「なるためには」

体力・元気・笑顔。これが一番大切。あとは高校で勉強することが基本的なことが必要になることがあります。将来のために授業はマジメに聞きましょつ笑。

「お忙しいところ、ありがとございました。」

水野 利政 さん

昭和56年生まれ 愛知学院大学卒業

出身高校 岐阜県立大垣東高等学校

18歳 大学に入学し、新たな出会いや新たな社会が開けていった。
24歳 社会人2年目。一生懸命やるなかで、仕事の楽しさを見つけた。
34歳 日々、仕事の醍醐味を感じながら、次の注文がもらえるように奮闘中!





株式会社 河合寿司

代表取締役社長

professional NO.118

夢に目付を!

株式会社 河合寿司

住所 大垣市横曽根4丁目72

URL <http://kawaizushi.com/>

営業時間 AM5時~PM7時

店休日 一部店舗 (3店舗): 水曜日

アンビ
ジャス的

なるためには

●必要資格 / 特にありません

●主な進路 / 特に決まった進路はありませんが、高校卒業後、飲食関係の仕事をするのが強みになります。経営者になりたければ、経営を学べる大学へ進学する道もあります。

学生時代

硬式野球部に所属していて、野球漬けの毎日でした。胸を張って頑張ったと言えるくらい、がむしゃらに打ち込みました。私は主将を務めていたので、先頭に立ちチームをまとめていった経験が、いまの仕事にもいかされていると思います。自分の限界に挑戦し、それを越えていく経験ができたことは、大きな財産になっています。みなさんにも、なにかひとつでも胸を張って頑張ったと言えることを見つけてほしいですね。

―大学生生活で学んだことを教えてください。

サークル仲間や先輩、後輩、アルバイト先の上司など、いろいろな人と出会うことで、コミュニケーションのとり方を学びましたね。おかれた環境や、年齢によって、人との接し方はまったく異なります。「この人にはこんなふうに接すればいいんだ」ということが、感覚的にわかるようになりました。また、一人暮らしの経験をとおして、時間や金銭面などのマネジメント能力が備わったと思います。経営者になる上ではとても重要なことです。いま思えば、私にとって大切な時間だったと言えますね。

―現在の職業について簡単に教えてください。

私は現在の職につく前に、会計事務所に勤めていました。入社3年後には父の始めた会社で働くことと決めていたので、いろいろな経営者の方にお話を聞いたり、自分ならどんな



会社にしたいか常に考えながら仕事をしていました。家業を客観的に見たときに、いまの自分や会社があるのは、働いてくれる従業員ののおかげさまだということに気づきました。みなさんの生活を守るために、わたし自身、より一層頑張っていると思っていますね。

仕事について

お寿司・おにぎり・お弁当・惣菜の製造販売をしています。細かい内容の注文にも柔軟に対応できるように心がけております。わたし自身は、経理・マーケティング、情報発信、人材育成なども含め、代表取締役として経営に関わることを統括しています。

―仕事をすることで、心がけていることを教えてください。

まずは即断即決ですね。あれこれ考えるよりもまず行動。「やってみなはれ精神」で何事にもチャレンジするよう心がけています。そして、物事には期限をつけるようにしています。先延ばしになることがないよう、ここまでにはしっかりやり切る!ということを徹底しています。

やりがい

やはりお客様から良い反響をいただけたときですね。「ありがとう!」「おいしかったよ!」と笑顔で言っていたら、それだけでやってよかったなと思えるものです。そしてそれが売り上げに結びつき、結果が出たときは素直にうれしいです。

なるためには

必要な資格は特にありませんが、調理師・販売士・栄養士・管理栄養士などを取得していると、できる仕事の幅がぐんと広がります。

―お忙しいところ、ありがとうございます。

河合 敏直 さん

昭和54年生まれ 専修大学卒業

●出身高校 岐阜県立大垣東高等学校

24歳 公認会計士論述試験に落ちる。地元へ帰り、会計事務所に就職する。

27歳 家業を継ぐべく、河合寿司へ入社。

36歳 代表取締役に就任。よりよい会社づくりに精を出す。

